



## 理学療法とは

### 理学療法ってなに？

理学療法とは病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、**運動機能の維持・改善を目的**に運動、温熱、電気などの物理的手段を用いて行われる治療法です。

理学療法の直接的な目的は運動機能の回復にあります。が、**日常生活動作（ADL）の改善を図り、最終的にはQOL（生活の質）の向上**を目指します。

病気やケガなど何らかの原因で寝返る、起き上がる、座る、立つ、歩くといった基本的な動作が不自由になると、ひとりでトイレに行けなくなる、着替えができなくなる、食事が摂れなくなる、外出ができなくなるなどの不便が生じます。誰もがこれらの動作をひとの手を借りずに行いたいと思うことは自然なことであり、これらの**ADLの改善はQOL向上の大切な要素**になります。

理学療法では病気、障害があっても住み慣れた街で、自分らしく暮らしたいというひとりひとりの思いを大切にします。

## 理学療法の対象疾患

### 理学療法の対象となる人とは？

理学療法の対象者は主に運動機能が低下した人々ですが、そうなった原因は問いません。病気やケガはもとより、高齢や手術により体力が低下した方々などが含まれます。

#### 中枢神経疾患

脳卒中、脳出血、くも膜下出血、脳の外傷、脳血管障害による術後など

#### 整形外科疾患(運動器の障害)

手や足、脊椎の骨折、肩関節周囲炎、腰椎椎間板ヘルニア、靭帯損傷、変形性関節症、手足の切断、人工股・膝関節全置換術、大腿骨頸部骨折術後、腱板修復術後など

#### 呼吸器疾患

慢性閉塞性肺疾患、肺炎、喘息、術後の肺機能低下など

#### 心疾患

心筋梗塞、狭心症、心臓血管外科術後など

#### 内科的疾患、体力低下

糖尿病、高齢、術後体力低下など

### 理学療法を受けるにはどうしたらいいの？

理学療法は医療行為に位置付けられており、医師の指示に基づいて行われます。当院に入院または通院中の場合、まずは主治医・担当医にご相談ください。医師が理学療法の必要性を判断いたします。

## 理学療法室 疾患別チーム

脳血管班

内部疾患班  
(呼吸・心臓)

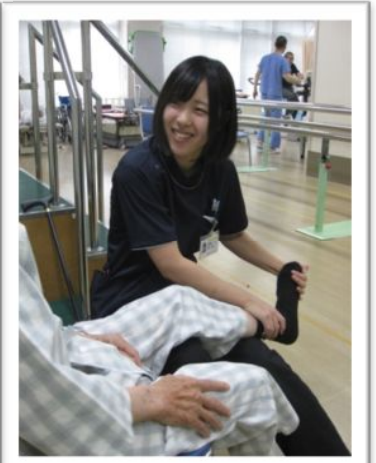
運動器班

回りハ班

理学療法室では疾患別にチームを構成して、より専門的知識を持ってリハビリテーションを提供しています。

## 理学療法士の訓練風景

理学療法士は physical therapist (PT) とも呼ばれます。私たちは基本動作の改善を目指して、関節可動域の拡大、筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減など運動機能に直接働きかける治療から動作練習、歩行練習などの能力向上を目指す治療まで、動作改善に必要な技術を用いてADLの自立を目指します。



## 心臓リハビリテーション紹介



現在リハビリテーション科では心臓リハビリテーション（以下、心リハ）に積極的に取り組んでいます。心リハとは主に心疾患を対象としています。また、現状大きな治療は必要ではない方も「進行予防」という観点から対象としています。

当院の心リハでは医師、看護師、理学療法士、作業療法士などがチームとなって正しい運動方法、生活様式、食事内容を指導しています。心臓の病気を有し、少しでも今の生活に疑問のある方はお気軽にお尋ねください。

## 各診療科との連携



## 理学療法士による様々な活動

理学療法士の活動は医療機関の中だけではなく、地域の自治会や障害予防対策、最近ではスポーツ分野における外傷予防など、健康な人々にも広がりがつつあります。当院の理学療法士においても運動・動作の専門性を活かした活動を行っています。

### 出前講座

ご依頼のあった地域の団体に運動の方法や病気、ケガの予防法などをお話いたします。（要相談）

### メディカルサポートチーム

各学校やスポーツ団体などにケガ予防法、ストレッチング方法など、実技を交えてお話しいたします。（要相談）



2019年11月5日「伊賀 NINJA TRAIL RUN」にメディカルサポートチームとして参加させていただきました。

### ポジショニングチーム

入院中に活動量が低下した方に、褥瘡（床ずれ）予防を目的に適切なポジショニングの設定や必要に応じて家族さまへの指導も行います。



理学療法士が病棟スタッフと連携して患者様の身体の状態に合わせてロングクッションを使用して適切なポジショニングを設定します。



- 2014年度「心臓血管外科医が話す生活習慣病予防に基づいた健康法」
- 2015年度「骨粗しょう症とロコモティブシンドローム」
- 2016年度「高齢者のかかりやすい肺炎について」
- 2017年度「脳卒中の基礎知識～症状からリハビリまで～」
- 2018年度「ひざの痛みについて」
- 2019年度「認知症ってどんな病気？」(台風接近により中止)

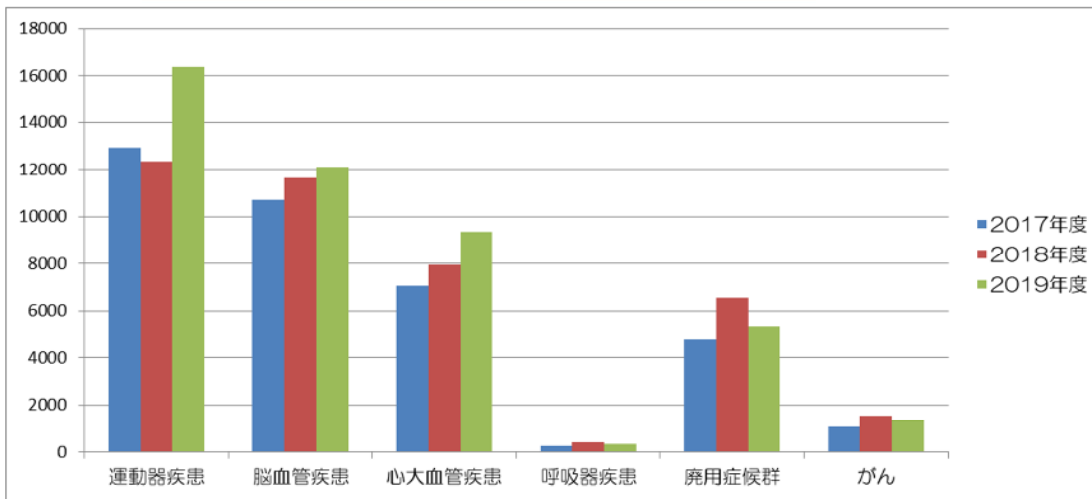


骨粗鬆症リエゾンチーム

骨粗鬆症と診断された患者様の二次骨折を予防します。

医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、理学療法士が骨粗鬆症リエゾンチームを結成して骨粗鬆症の患者様に対して生活指導、薬物療法、栄養指導、運動療法を指導します。

理学療法室 年間延べ患者実績



各疾患ともに理学療法を必要とする患者さまは増加しており、年々需要は高まっています。

理学療法士 実績 【学会発表、取得関連資格】

【2019年度 学会発表】

第24回日本基礎理学療法学会学術大会

清水恒良——「SWEを用いた足関節底背屈時における kager's fat pad の組織弾性変化について」

第35回東海北陸理学療法学会学術大会

林拓——「膝関節屈曲制限に対し SWE を用いた評価と治療の有効性」

前川潤——「当院にてロングクッションを使用しポジショニング統一に向けた取り組み」

【2018年度 学会発表】

第30回三重県理学療法学会

佐藤雄介——「足趾脱臼骨折術後の MTP 関節可動性獲得における一考察」

山本咲枝里——「大腿骨骨幹部骨折の深屈曲獲得に向けて下腿内旋に着目した一症例」

中平智之——「体幹・骨盤機能が重度片麻痺の歩行獲得に寄与した一症例」

【2017年度 学会発表】

第52回日本理学療法学会学術大会

清水恒良——「足関節脱臼骨折 (LH 分類 SER 型 stageIV) 術後に対し軟部組織修復過程を考慮した一例」

【取得関連資格】

運動器認定理学療法士、脳卒中認定理学療法士、3学会合同呼吸療法認定士、福祉住環境コーディネーター2級、がんのリハビリテーション研修終了、協会指定管理者(上級)、ICLS コース修了、ファンクショナルローラーピラティスアドバンスインストラクター、FTP ベーシックマットピラティスインストラクター、第一種衛生管理者、応急手当普及員

## 理学療法士 教育体制

### 【新人教育共通研修】

新入職員全員を対象に医療従事者として必要な基礎知識からリハビリに関わる専門的な内容を学習します。

### 【理学療法 新人教育勉強会】

新人理学療法士を対象に運動器疾患、脳血管疾患、内部疾患など疾患別に専門的な知識・技術の研修会を実施します。

### 【症例検討会】

リハビリを実施している患者さんの疾患に対して客観的に症状を報告し、改善に向けて議論し合います。経験豊富な理学療法士の意見を新人理学療法士が参考にして、ひとりでは解決できなかったことなど、様々な意見を取り入れて日々、治療に取り組んでいます。

